

学校評価アンケートの結果を学校HPにてご報告させていただきます。

保護者回収率は約39.5%でした。改めて、ご協力ありがとうございました。

今回のアンケートの結果、保護者の満足度（「保護者として、子どもを札幌新陽高校に通わせて満足している」に対する肯定的回答）は82.4%と高く、各コース間でも大きな差はありませんでした。

（特進…84.5% 進学…84% 探究…81.8% 総合…81.1%）部活動等で生徒が生き生きと活動していると感じている保護者の方が多い一方で、落ち着いた学習環境や整った設備には課題があるといえます。

また、保護者会に関しても多くの皆様にご参加いただき、回数については肯定的回答が多いものの、進路や健康管理に関する情報の提供、個別の相談体制、いじめ対策などについては、課題が見えました。

なお、全ての回答結果は、以下リンクの表をご参照ください。

[＜全体＞](#) [\(PDF\)](#)

[＜保護者（項目別）＞](#) [\(PDF\)](#)

[＜保護者（全回答）＞](#) [\(Excel\)](#)

[＜生徒（項目別）＞](#) [\(PDF\)](#)

[＜生徒（全回答）＞](#) [\(Excel\)](#)

生徒の日常の生活に関わる項目（生活指導・学校行事等）に関しては、保護者に届く生徒の生の声であることを真摯に受け止め、今後も生徒一人ひとりと丁寧に向き合い、各家庭とは連絡等をきめ細かく行いながら、学校の方針等を理解していただくよう努力して参ります。

今後とも本校の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本結果についてのお問い合わせは教頭までご遠慮なくお知らせください。

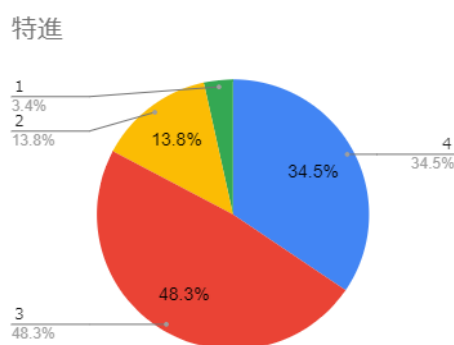
特進コース

特進コースは、国公立大学や難関私立大学への一般合格に必要な力を身につけると共に、大学入試の変化に対応しながら「学力」だけではなく、「思考力」と「問題解決能力」を身につけさせ、生徒同士の「切磋琢磨」の雰囲気を育むことを目標に日々生徒の活動を支援してきました。

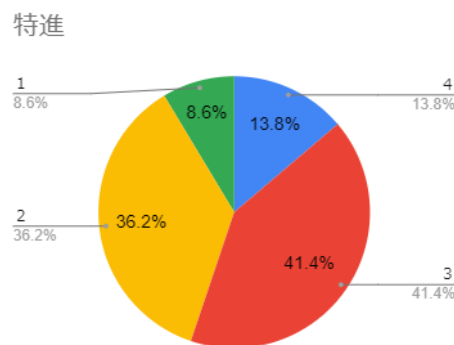
保護者アンケートでは「子どもは落ち着いた環境で学習に打ち込めると言っている」に対し肯定的回答が74.1%、「生徒に自分の進路や生き方についてよく考えさせている」に対しても肯定的回答が82.8%という結果となりました。今年度は、1・2年合同の勉強合宿(宿泊研修)や土曜日講習、長期休業講習、校内実力テストなど特進コース独自の取り組みの中で学習に向かう姿勢を育ててきた結果だと考えられます。

さらに「生徒の学習や進路に関する情報を適切に保護者に伝えている」に対しての肯定的回答が79.3%である一方、「シラバスの公開など学習の指導方針を適切に保護者に伝えている」は約半数にあたる44.8%が不十分だと感じていました。また「生活指導の方針をよく保護者に伝えている」の項目も36.2%が不十分だと感じており、進路に関するだけでなく、毎日の授業や生活面での指導方針についても情報を提供する必要があると再認識しました。

生徒に自分の進路や生き方についてよく考えさせている (肯定的回答…82.8%)



学習の指導方針を適切に保護者に伝えている (否定的回答…44.8%)

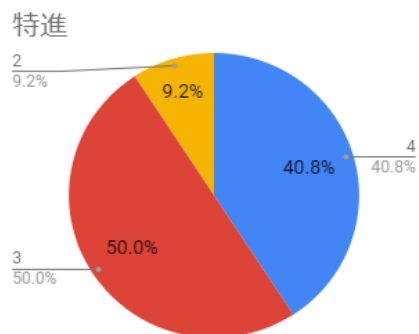


また、生徒アンケートでは「内容がわかりやすい授業が多い」と感じている生徒が60.5%、「授業の考え方や教え方にさまざまな工夫している先生が多い」と答えた生徒が64.5%という結果でした。さらに「本校の先生は教科の質問にきちんと対応している」という回答が90.1%という高い結果となり、これらの結果から学習面では概ね満足していることがわかりました。

進路に関しても、「進路についての情報をよく知らせてくれる」と感じている生徒が82.9%、「学習や進路についての面談が適切に行われてる」、「総合的な学習の時間では将来の進路や生き方について考える機会がある」と感じている生徒が共に82.9%で、これは前述した勉強合宿や模擬試験受験においても単なる勉強だけでなく、進路にまつわる講演会や北海道大学のオープンキャンパス参加、北海道大学との連携(講義見学等)などの進路学習も併せて行ってきたことの結果だと考えられます。

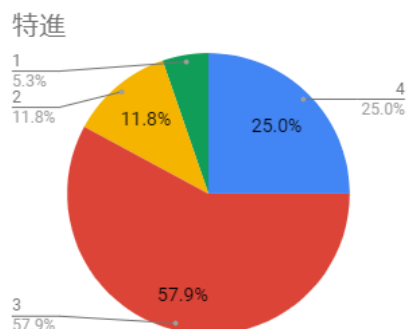
教科の質問にきちんと対応している

(肯定的回答…90.1%)



将来の進路や生き方について考える機会がある

(肯定的回答…82.9%)



一方で、授業規律や校則・遅刻などの生活指導においては多くの生徒が問題があると感じていることがわかりました。引き続き、進路実現に向けて学習面での充実に加え、生活面での支援にも力を入れていきたいと思えます。

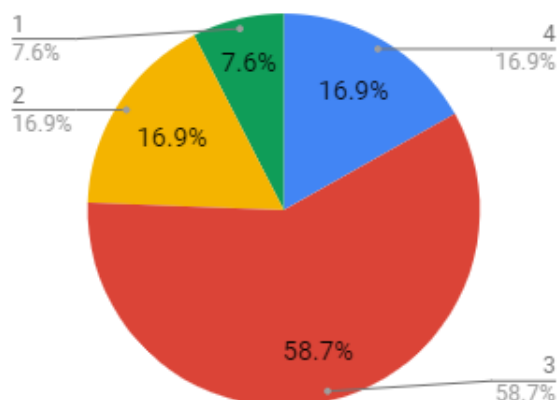
進学コース

進学コースは、今年度よりリニューアルを図り、従来の学力だけでなく、大学や社会で求められる素養を伸ばすことができるよう、理念と教育体制を整えてきました。高大接続改革にも表れているとおり、大学も入試も変容を求められ、したがって高校にも変化が求められる時代です。教員側は最先端の教育事情をいち早くキャッチし、現場での教育実践へと落とし込む。そして、生徒たちは自ら考える力を発揮していく。そんなコースを目指しています。

今年度の学校評価アンケート結果では、生徒からの評価、保護者の方からの評価ともに、各項目で他コースともあまり差がなく、学校平均的な回答をいただいています。特筆すべき点としては、生徒からは「本校は、授業の考え方や教え方にさまざまな工夫をしている先生が多い」をはじめとした授業に関わる項目で、肯定的な回答が多くなっております。これは、進学コースが今年度より理念と授業スタイルの見直しをかけ、各先生が改善に取り組んだ結果かもしれません。

本校は、授業の考え方や教え方にさまざまな工夫をしている先生が多い (肯定的回答…75.6%)

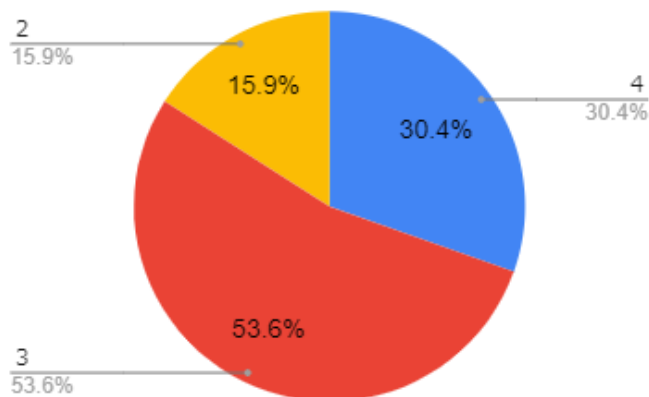
進学



保護者の方からの「保護者として、子どもを札幌新陽高等学校に通わせて満足している」という項目では肯定的回答が全コース中1位の占有率となりました。

保護者として、子どもを通わせて満足している（肯定的回答…84.0%）

進学



とはいえ、全体的に肯定的回答ではあっても「特に良い」の評価は少なめであり、満足ではあっても大満足ではないところにコース運営の課題も見られます。

結果に慢心することなく、引き続き満足度の高いコースを目指した運営を心がけていく所存です。これからも、ご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます

探究コース

探究コースは、「生きたいように生き続ける力」の育成を目標に、他者と協働するプロジェクトを軸に学習課程を展開しています。

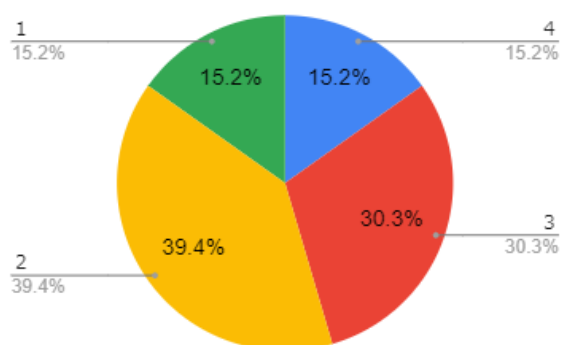
多くの高校では教育の目的を、大学入学を目指しテストの「偏差値」を上昇させることに置く中、探究コースでは様々な出会いや原体験を重視し、人生を創造する「経験値」を積み重ねることを目的としています。

そのような教育の中で、生徒は一人の人間として意志を持って自立し、他者の意志を承認できる自律を備え、自由と勝手の違いを理解できるような自己革新ができるようにサポートし、自己の成長を社会に生かし、変革をもたらせるような人材を目指します。

保護者アンケートにおいて「子どもは授業はわかりやすいと言っている」「子どもは学力が向上したと言っている」等の項目が他コースと比較し、肯定的回答が低い傾向にあるのは、探究コースが中学までの学習とは全く違い、「学力」の概念も偏差値ではなく経験値としているからだと考えられます。今後は、授業の解りやすさの工夫を行うとともに、生徒へは日々の授業の中で起こる葛藤やコンフリクトも含めたすべてを学習として提示し、これからの学力の向上の実感を持ってもらえるよう取り組んでいきます。

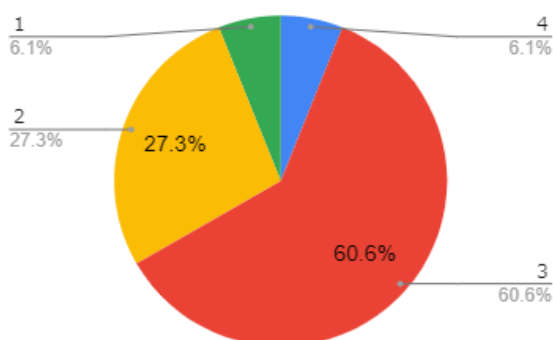
子どもは、学力が向上したと言っている
(肯定的回答…45.5%)

探究



子どもは、授業はわかりやすいと言っている
(肯定的回答…66.7%)

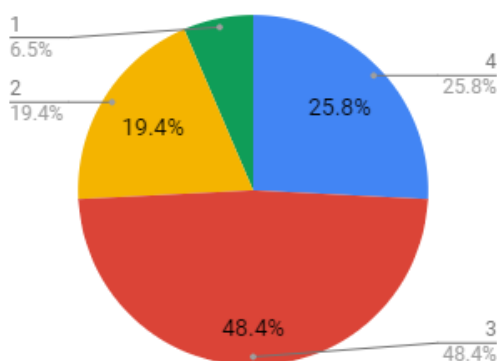
探究



また、探究コースでは、次のグラフに表れているように、すべての学習を通じて、人生や自分の生き方について意識を向けるように、学習設計をしています。教育効果を18歳のタイミングでどこに進学させるかなどの「進学指導」には重きを置かず、生徒がどのような人生を生きたいか、自分の人生に意味を持つ問いを自ら立てる力を育む「進路指導」を重視しています。生徒が周りの価値観に影響された選択ではなく、本人が自己決定した次のステージに進むことです。探究コースはすべての人にとって「人生」とは何か、「教育」とはなにかを問い続ける場所として存在しています。

総合的な学習の時間では将来の進路や生き方について考える機会がある
(肯定的回答…74.2%)

探究



総合コース

総合コースは「マチ中が教室」構想を展開し、多くの出会いと原体験から創造力・表現力・行動力を身に付けてきました。一人ひとりの学びに合わせた学習を展開する「教養基礎」、主体的に課題を設定して興味関心ある分野を深く探究する「探究基礎」などを通して自分のミライをカタチにしてきました。学校という小さなフィールドで教育を展開することなく外に飛び

出して、出会いを創出し、原体験を通して自分の生き方を探究して、知識や技能を習得してきました。

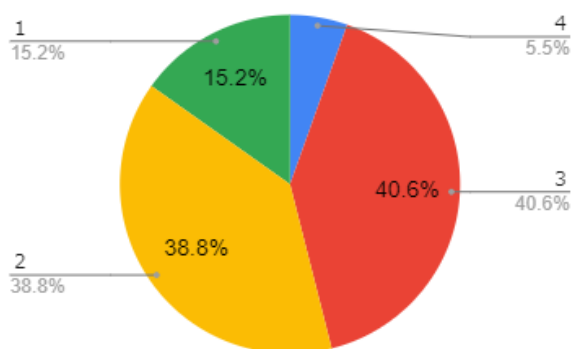
しかしながら、保護者アンケート結果から、学習に対して不満足との結果が出ました。授業内容の充実や学習環境の整備、そこから学力向上に繋がるように体制を立て直していきます。

また、生徒個人に対してのアプローチ不足、家庭との連携不足も課題が残りました。一人ひとりに合わせた個別支援の充実とともにご家庭への報告体制を整えていきます。

この結果を踏まえて、来年度に向けて更なる体制の立て直しを図ります。

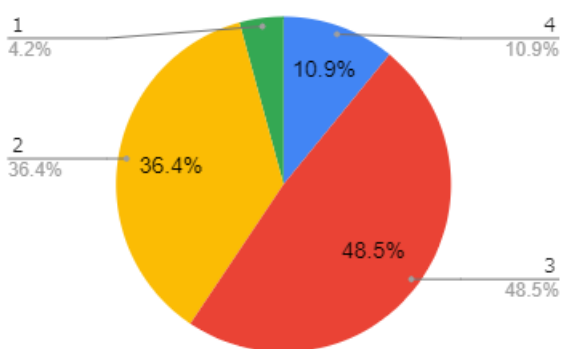
子どもは落ち着いた環境で学習に打ち込めると言っている (否定的回答…52%)

総合



シラバスの公開など学習の指導方針を適切に保護者に伝えている (否定的回答…40.6%)

総合



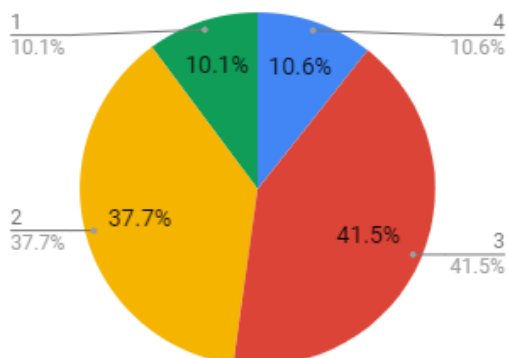
生徒アンケート結果からは、保護者アンケートの結果同様に学習に関する不満が数値に表れています。学習体制の見直しを図り、生徒一人ひとりが満足できる環境づくりに励みます。

生活支援に関する(校則遵守、基本的な生活習慣、環境整備など)事項に対しては特に低い数値となりました。学習の根源に関わる事柄なので来年度に向けて整備します。

学校行事、自動販売機・お弁当に関することは学校としての課題とします。

本校は内容のわかりやすい授業が多い (否定的回答…47.8%)

総合



本校の生徒は校則を守っている (否定的回答…66.7%)

総合

